

平成27年度第2回熊本県公立大学法人評価委員会(H27.8.5) 議事録

発言者	内 容
事務局	開会 定足数の確認
議題 平成26年度業務実績評価について	
小野委員長	これより議事に入ります。 今回の議案について、事務局から説明をお願いします。
事務局	議案について説明
小野委員長	ありがとうございました。 それでは、1つずつ、皆様の御意見を確認していきたいと思います。 まず、4ページの(1)志願者数の増加についてですが、「過去最高だった。」という表記を「前年に比べ急増した。」に訂正してあります。また、私の「今後、沖縄など他県へのアピールが必要である。」という意見ですが、これは、沖縄から1名しか入学していないので沖縄を取り上げて言わせていただきました。この件については、いかがでしょうか。修正どおりでよろしいですか。
委員一同	(了承の声あり)
小野委員長	それでは、次の(2)の「外国人留学生学費免除制度」と「水銀研究留学生奨学金制度」について、法人からの意見を反映し、「秋季入学制度の整備」の部分削除し、2つの制度導入により留学生3名が入学した旨の簡潔な表記に修正したいということですが、いかがでしょうか。この案でよろしいですか。
委員一同	(了承の声あり)
小野委員長	続いて、(3)及び(4)の全学共通教育の新カリキュラムについてですが、事務局から、「着実」を「独自」に変更する修正案が出ています。これはいかがでしょうか。
委員一同	(了承の声あり)
小野委員長	それでは、次に8ページの(7)食育推進プロジェクトについてですが、法人より、「平成27年で10年目を迎えると評価されているが、報告書は平成26年度のもので、正しくは9年目ではないか。」という意見が寄せられています。 今回10年目という表記を削除した形で評価するか、改めて来年度に評価するかを御審議いただきたいということですが、いかがでしょうか。 来年、10年目を迎えた後に評価するという方がよろしいですか。
委員一同	(了承の声あり)
小野委員長	それでは、そのとおりにさせていただきます。(7)について、今回の評価は見送ります。 次に、(11)についてですが、これについては、法人から意見がありまして、家庭科の専修免許課程設置が大学院進学者の増加に直結するものとは考えられないということで、「志願者の増加につながることを期待する。」というコメント案が出されております。事務局からは、何を評価するのかがわかるようにした案ということで、評

	<p>価委員会としてのコメントをまとめていただきたいということです。 皆様、いかがでしょうか。</p>
久峨委員	<p>「進学者」というと「合格者」と考えてしまいましたが、家庭科の専修免許課程を設置するということで合格者が増える訳ではないと思います。私は、の志願者の増加がいいと思っております。</p>
小野委員長	<p>難しいですね。進学者が増加してほしいというのはあると思いますが、 現在大学院は定員が不足しており、充足するために進学者の増加を図るには、志願者の増加が必須だということですが、いかがでしょうか。</p>
久峨委員	<p>この家庭科の専修免許課程を設置することで、進学者の枠も増えるということですか。</p>
事務局	<p>枠は増えません。今までは大学院に行っても卒業するだけでしたが、それが資格が取れるということになれば、大学院に行く魅力の1つになるということです。</p>
元山委員	<p>そうであれば、社会のニーズに対応するということになりますから、志願者の増加ということになると思います。大学が社会のニーズに対応したことを評価すると考えていいのではないのでしょうか。</p>
小野委員長	<p>言葉としては、志願者の方がいいですか。</p>
元山委員	<p>志願者の方がいいと思います。</p>
小野委員長	<p>委員の2人から志願者という意見がありましたので、ここはの案を採用することとしましょう。 また、この項目には、久峨委員から「大学院」の表記について意見がありますが、これについては、法人及び事務局から説明がありますので、これは、御納得いただけますか。</p>
久峨委員	<p>はい。（了承）</p>
小野委員長	<p>では、次の(12)SA制度の活用についてですが、これには追加意見はないようですので、この案でいくこととします。 続いて、(13)の管理栄養士国家試験の合格率90%以上ですが、「着実」という場合には、「高く」という表現は使わないという説明がありました。「顕著」などの評価になれば、「高く評価する」というコメントになるとのことですので、私としては、これは了解しました。 続いて、(15)教育や公務員の就職者数増加についてですが、元山委員より、安定志向に対する偏った成果指標ではという意見があったので、修正案が出ています。元山委員、いかがですか。</p>
元山委員	<p>安定志向というのは確かにあるのですが、それだけを強調するのではなく、県立大学は、より広い人材教育をしておられると思いますので、そこを踏まえて評価すべきと思います。</p>
小野委員長	<p>確かにそうですね。それでは、下線のとおり民間等という言葉が入る形にコメントを修正してありますが、これでよろしいでしょうか。</p>
元山委員	<p>はい。（了承）</p>

小野委員長	<p>それでは、元山委員の了承も得ましたので、(15)についてはこの修正案のとおりでいきたいと思えます。</p> <p>次に(16)ですが、これは私がコメントしただけですから、特に異存はありません。</p> <p>続いて、16ページの(22)英語能力育成プログラム、18ページの(25)有明海・不知火海流域圏の研究については、追加意見がないので、このままでいいですね。</p> <p>次の(26)の科学研究費補助金への全員応募については、「着実」を「顕著」にしたという修正案ですが、これもよろしいですか。</p>
委員一同	(了承の声あり)
小野委員長	<p>次に、(27)防災減災イベントは、追加意見はないようですね。</p> <p>(28)は、前の(25)と同じですので省略します。</p> <p>(29)の外部資金獲得は、私がコメントしていますが、これで了解しています。また、防災減災のブックレットについては、追加意見は出ていません。</p> <p>(31)のCOC事業については、「今後さらなる事業の発展を期待する」との修正案が出ていますが、これでよろしいですか。</p>
各委委員	(了承の声あり)
小野委員長	(32)の学術機関リポジトリの整備については、元山委員から、投資に対する効果の如何で評価すべきではないかという意見をいただいています。参考資料3ページを御覧になって、元山委員に御意見をお願いします。
元山委員	これは、2年に渡ってシステム整備に多額の投資をされていたので、その投資に対する計画があったのではないかと思ひ、その計画と比べて結果がどうだったのかということの評価すべきと思ったものです。しかし、この提出された資料をみますと、投資はかなり限定的のようですし、機能を追加されたように受け取れますので、大げさにいう必要はないかと思ひます。
小野委員長	では、原案どおりでよろしいですか。
元山委員	はい。結構です。(了承)
小野委員長	<p>(33)のCOC事業は、さきほどの(31)と同じですね。</p> <p>次に、(34)のフードバレー関係ですが、「積極的に参画しながら」と表現を変え、また、「事業・研究の発展を期待する」を追加していますが、これはよろしいですか。</p>
委員一同	(了承の声あり)
小野委員長	次は、(35)看護管理者サードレベルですが、法人から意見があっておりまして、独自ではないということでございます。これも、修正案のとおりでよろしいですね。
委員一同	(了承の声あり)
小野委員長	24ページに移りますが、(36)については、高野委員からの意見を反映させた修正案が出ています。表現はこれでよろしいですか。
高野委員	はい。(了承)

小野委員長	(36)の外国人留学生学費免除制度と水銀研究留学生奨学金制度については、(2)と同じですので、これでよろしいですね。
委員一同	(了承の声あり)
小野委員長	26ページの(40)独自の奨学金や授業料減免制度及び(43)の障がい・疾病のある学生への修学支援要領については、追加意見はないようですので、これでよろしいですね。
委員一同	(了承の声あり)
小野委員長	(44)の就職率の向上については、元山委員から、業界研究セミナーの実施を評価する意見がありましたので、それを反映させて下線のとおりの修正となっていますが、いかがでしょうか。
元山委員	結構です。(了承)
小野委員長	次の計画番号からは、自己評価、評価委員会の評価コメント、それから評価委員会の検証が記載されています。評価コメントと合わせて、「A」という評価でよいのかも、御審議いただくようにお願いします。 では、29ページの(49)教員の任期に関する審査基準について、久峨委員からの御意見をいただいておりますが、審査基準は学内に共有されているということですので、評価コメントはこのとおりでよろしいでしょうか。
久峨委員	はい。(了承)
小野委員長	皆さんもよろしいですね。
委員一同	(了承の声あり)
小野委員長	それでは、次は(52)のシステム整備等についてですが、これについては、久峨委員からの御意見がありますが、参考資料を御覧になっていかがでしょうか。
久峨委員	私としては、各学部の複合機を一括して調達することによりコスト低減を図ったと理解していたのですが、この参考資料では、カウンター料の軽減について記載がされているようです。(52)で記載されているものは、一括調達により、複数台まとめて契約することにより値引きがあったという話なのか、それとも例えば1つのリース会社で契約するなどの施策によりカウンター料が減ったということなのか、どちらでしょうか。
事務局	これは、おっしゃるとおり、複合機の一括調達のことで間違いありません。この数字は、1台分ではなくて、すべての複合機をまとめた合計額でございます。
小野委員長	そういう理解で、この文章でよろしいでしょうか。
久峨委員	はい。(了承)
小野委員長	次に、31ページの(55)COC事業は、前の(31)、(33)と一緒に省略します。 次の(56)の海外留学については、(36)と同じで高野委員の意見を反映させることとします。

	<p>(57)の太陽光発電システムの整備については、追加意見がないようですので、この案のとおりとします。</p> <p>次に、34ページの(59)教育研究活動システムですが、ここは、法人評価も評価委員会の検証も「B」になっています。</p> <p>私は、将来はIRの枠組みへ組み入れることについて意見を出しましたが、第1回のヒアリングでは、まだそこまではいかないというお話でした。これから、だんだん進んでくると思います。</p> <p>では、この(59)については、評価委員会の検証は「B」でよろしいですね。</p>
委員一同	(了承の声あり)
小野委員長	<p>次は(62)太陽光発電システム整備ですが、これは(57)と同じですので、この評価でよろしいですね。</p> <p>次に、(63)の情報セキュリティについてですが、これは自己評価も検証も「B」になっています。久峨委員より意見がありますので、本日配られた「資料差し替え」を御覧ください。これについて、久峨委員、お願いします。</p>
久峨委員	<p>情報セキュリティについては、平成25年度から課題としてあげられていました。セキュリティポリシーを見直すという目標が25年度からありましたが、26年度現在でもまだ素案の状況です。</p> <p>第1回目のヒアリングで、27年6月に基本方針の策定が行われたと説明があり、1つの目途が立ったというところだと思いますが、今回の評価コメントは、26年度末で考えるべきと思いますので、セキュリティポリシーの策定が遅延していることを課題として挙げさせていただきました。</p> <p>また、最初に出した追加意見では具体的な記述をしていましたが、セキュリティポリシーの内容は法人に考えていただくことにして、評価委員会は、法人が行ったことに対する評価に徹することにして、コメントの差し替えを提出させていただいております。また、情報セキュリティの研修については、情報を扱う皆さんの受講が必要だということも記載しています。</p>
小野委員長	では、35ページの評価コメントを、この「資料差し替え」にあるコメントに変更することですね。この評価に関しては、これでよろしいですか。
委員一同	(了承の声あり)
小野委員長	では、最後に(65)ハラスメント関係ですが、元山委員から「A」を付けることに疑問を呈するという意見が出ていますが、いかがですか。
元山委員	<p>これは、万一、こういう事象が表れると、大学のイメージが非常に悪くなると思い、問題が起きないように、しっかり研修してほしいという意味で申し上げました。</p> <p>ただ、今回外部相談員というものを新たに設置されたことを前向きな取組の1つだと捉えて、小野委員の意見に同感です。</p>
小野委員長	他の委員の皆さんは、いかがでしょうか。高野委員はいかがですか。
高野委員	厳しめの、「BよりのA」だという位置づけかなと思います。
小野委員長	<p>このハラスメントは、非常に重要な部分です。1件でも出ると非常に難しい状況に立たされますから。</p> <p>縄田委員は、何かありますか。</p>

縄田委員	<p>体制を充実させるという目標に対して、こういう新たな取組をされたという面では、この自己評価「A」になるかなと思ったので、特に異議はなかったところです。</p> <p>情報管理と同様で、どこまで対策をとるかというところはあると思いますが、今回の体制を作ったということは評価できるのではないかと思います。</p>
小野委員長	<p>新たな取組として評価したいということですね。</p> <p>それでは、限りなく「B」に近い「A」ということにさせていただきたいと思います。</p> <p>以上で、議案の審議を終わります。スムーズな進行に御協力いただき、ありがとうございました。</p>
事務局	<p>長時間に渡る御審議、大変お疲れ様でした。これをもちまして、本年度の評価委員会は終了でございます。</p> <p>本日御審議いただきました内容をもとに、平成26年度業務実績評価書を作成し、委員長及び委員の皆様にお送りし、御了解を得たいと存じます。</p> <p>その後、この業務実績報告書は、9月の県議会で報告する予定でございます。</p>
高野委員	<p>県議会に報告した際、議会からどのような意見が出たかを評価委員会に報告していただきたいと思います。</p>
事務局	<p>わかりました。議会に報告した後、皆様にはその内容を御報告いたします。</p> <p>閉会</p>